

「RIETI-TID2018」について

1. 基本的考え方

「RIETI-TID2018」においては、東アジアの製造産業活動を貿易動向から把握する観点から、域内で貿易取引が活発な産業に焦点を絞りつつ、全ての貿易財を日本の産業連関表の統合大分類を基にして分類し、更に産業毎に生産工程別に整理した貿易産業分類表を作成した（図表 2）。これにより三角貿易構造について、産業別に生産工程間分業の進展を反映した分析を行い、対象国の競合、補完関係等の動的变化を明らかにする。

図表 1 貿易データベース「RIETI-TID2018」の概要

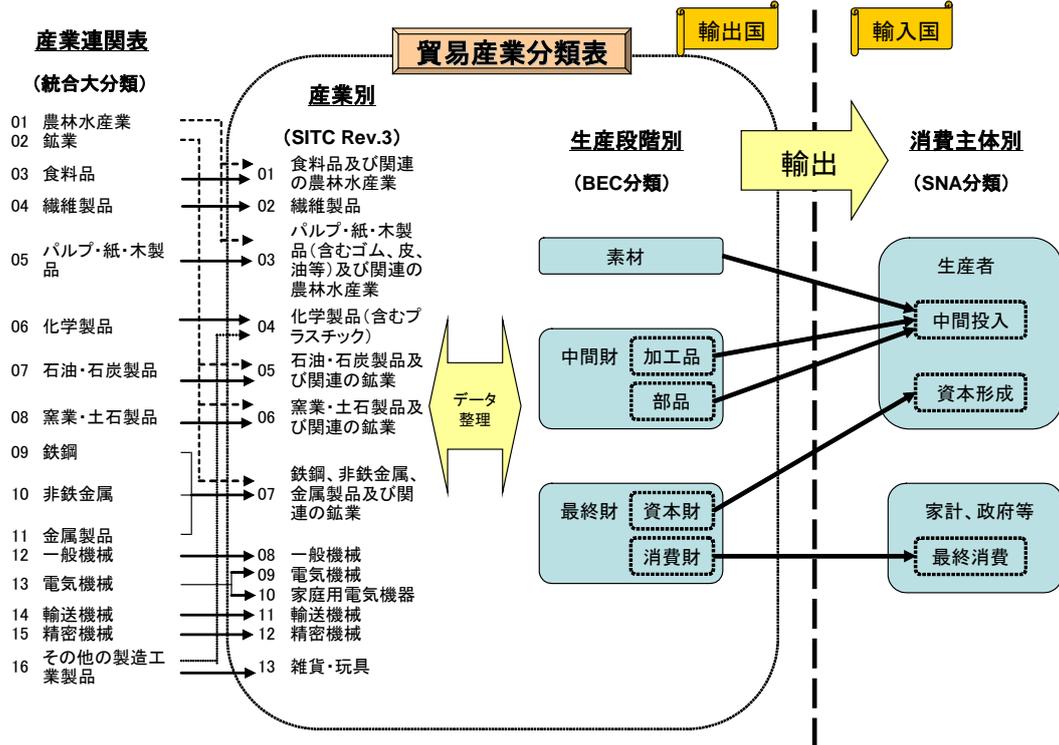
対象国・地域	<p>【アジア】 日本、中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ブルネイ、カンボジア、インド</p> <p>【北米】 米国、カナダ、メキシコ</p> <p>【欧州】 英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、ベルギー、ギリシア、ルクセンブルク、フィンランド、スウェーデン、アイルランド、ポルトガル、デンマーク、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー、リトアニア、ラトビア、スロベニア、エストニア、キプロス、マルタ、ルーマニア、ブルガリア、ロシア、トルコ、ノルウェー、クロアチア</p> <p>【南米】 アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、チリ、ベネズエラ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア</p> <p>【オセアニア】 オーストラリア、ニュージーランド</p> <p>【中東】 イラン、イラク、イスラエル、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦</p> <p>【アフリカ】 エジプト、ガボン、赤道ギニア、ナイジェリア、南アフリカ共和国</p>
対象年	1980年～2018年（ただし国によってデータが存在しない年がある。）
データの内容	国・地域の輸出額・輸入額が、相手国別（グループ・世界合計含む）、産業別（13分類）、生産工程別（5段階）、年別に整理されている。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則、輸入データ CIF（運賃・保険料込み）で作成している。 ● 各国の台湾からの輸入は、台湾の各国輸出額に 1.1 を乗じて CIF に換算している。 ● 対象国以外の国・地域の合計額を RoW (Rest of the World) とする。 ● 世界合計額は、対象国（台湾を含む）と RoW の総和で算出している。 ● データの制約上、ベルギーとルクセンブルク、チェコとスロバキアは、同一国として整理している。 ● 貿易額の通貨単位は US ドルで、名目為替レートである。（各国の年毎の為替レートは、UN Comtrade のホームページで確認することができる） http://comtrade.un.org/db/mr/daExpNotebyRepYear.aspx ● クロアチア、イラン、イラク、イスラエル、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、エジプト、ガボン、赤道ギニア、ナイジェリア、南アフリカ共和国は 1995～2018 年のデータのみ（対台湾貿易は 2008～2018 年のデータ）を収録。 ● RoW (Rest of the World) は、1980～1994 年は新規追加国も含まれている。

※なお、RIETI-TID 2017 の作成後、データが更新された国については、以下の通り更新している。

	更新前の合計額	更新後の合計額
オーストリア (2017 年)	\$141,955,033,922	\$161,436,432,463
ベルギー・ルクセンブルク (2017 年)	\$398,377,130,333	\$418,341,741,752
ボリビア (2017 年)	\$10,476,189,691	\$9,112,830,723
チリ (2017 年)	\$66,018,114,839	\$64,023,432,032

キプロス(2017年)	\$8,246,505,572	\$9,144,686,138
チェコ・スロバキア(2017年)	\$204,501,038,789	\$232,958,473,275
デンマーク(2017年)	\$83,867,974,987	\$87,576,846,619
エストニア(2017年)	\$13,898,768,566	\$15,427,927,871
ドイツ(2017年)	\$963,706,373,571	\$1,078,728,307,798
インドネシア(2017年)	\$113,942,639,816	\$152,861,045,958
イラン(2017年)	\$43,314,799,344	\$46,871,808,439
イタリア(2017年)	\$391,149,770,210	\$438,469,363,387
クウェート(2017年)	\$31,091,472,078	\$32,873,716,215
ラトビア(2017年)	\$14,225,925,282	\$14,939,828,092
マレーシア(2017年)	\$183,155,587,533	\$200,011,914,322
マルタ(2017年)	\$33,523,600	\$6,650,816,446
オランダ(2017年)	\$417,135,182,085	\$433,414,740,569
ペルー(2017年)	\$40,096,198,788	\$39,019,968,017
ポーランド(2017年)	\$194,710,881,341	\$200,318,584,576
ポルトガル(2017年)	\$72,479,257,554	\$77,241,173,614
カタール(2017年)	\$90,619,100	\$28,804,447,383
サウジアラビア(2017年)	\$1,119,725,200	\$125,787,975,656
南アフリカ(2017年)	\$67,285,959,032	\$74,683,292,164
タイ(2017年)	\$6,670,134,900	\$216,428,854,411
アラブ首長国連邦(2017年)	\$1,629,472,900	\$245,526,172,454
英国(2017年)	\$603,525,843,796	\$609,627,636,281
米国(2017年)	\$2,085,116,738,138	\$2,253,550,691,847

図表2 貿易産業分類表の構造



2. 産業の分類

産業については、日本の産業連関表の統合大分類（32 部門）のうち農林水産業、鉱業を含む製造業の分類を基礎として、13 の産業に整理した（図表 3）。東アジアの工程間分業の進展を効率的に反映するために、分類上、以下の点について工夫している。

- ① 生産工程のうち原料、素材生産に相当する農林水産業、鉱業については、産業連関表の様に独立した産業として分類せず、それぞれ関連の製造業の川上産業として整理した。具体的には、「食料品」、「パルプ・紙」については、「農林水産業の関連商品」、また「化学製品」、「石油・石炭製品」、「窯業・土石製品」、「鉄鋼、非鉄金属、金属製品」については、「鉱業の関連商品」を含めて分類した。
- ② 非鉄金属、金属製品は、生産工程上類似している点が多いと見なせることから、一つの分類として整理した。更に、鉄鋼についても、生産工程上の BEC 分類では加工品にしか分類されないため、同一産業として含めた。
- ③ 電気機械については、東アジアの工程間分業の状況を踏まえ、電気機械と家庭用電気機器とに分けて整理した。
- ④ その他の製造工業製品は、雑貨・玩具として整理した。プラスチックについては、産業連関表の分類上はその他の製造業に含まれているが、生産工程の観点から雑貨・玩具に入れず化学製品に含めた。

図表 3 貿易産業分類表

産業別	生産段階別	素材	中間財		最終財	
			加工品	部品	資本財	消費財
		1	2	3	4	5
1	食料品及び関連の農林水産業	◎	◎		◎	◎
2	繊維製品	◎	◎	◎		◎
3	パルプ・紙・木製品(含むゴム、皮、油)及び関連の農林水産業	◎	◎	◎		◎
4	化学製品(プラスチック製品含む)	◎	◎			◎
5	石油・石炭製品及び関連の鉱業	◎	◎			
6	窯業・土石製品及び関連の鉱業	◎	◎			◎
7	鉄鋼、非鉄金属・金属製品及び関連の鉱業	◎	◎	◎	◎	◎
8	一般機械		◎	◎	◎	◎
9	電気機械		◎	◎	◎	
10	家庭用電気機器		◎	◎	◎	◎
11	輸送機械	◎		◎	◎	◎
12	精密機械		◎	◎	◎	◎
13	玩具・雑貨		◎	◎	◎	◎

3. 生産段階別の分類

13 分野に整理された産業を、更に素材、中間財（加工品、部品）、最終財（資本財、消費財）の 3 つのカテゴリー（5 つのサブカテゴリー）に分類した（図表 4）¹。これは、国連の BEC（Broad Economic Categories）分類を基に、貿易財の生産工程における性質から各産業の貿易データを 3 つのカテゴリーに集約し、SNA(System of National Account)の基準により分類したもの²。

図表 4 貿易財の生産工程別分類表

Category	Sub-category	BEC code	BEC Title
素材(Primary goods)		111	Food and beverages, primary, mainly for industry
		21	Industrial supplies, n.e.s., primary
		31	Fuels and lubricants, primary
中間財(Intermediate goods)	加工品(Processed goods)	121	Food and beverages, processed, mainly for industry
		22	Industrial supplies, n.e.s., processed
		32	Fuels and lubricants, processed
	部品(Parts & Components)	42	Parts and accessories of capital goods, except transport equipment
53		Parts and accessories of transport equipment	
最終財(Final goods)	資本財(Capital goods)	41	Capital goods, except transport equipment
		521	Other industrial transport equipment
	消費財(Consumption goods)	112	Food and beverages, primary, mainly for household consumption
		122	Food and beverages, processed, mainly for household consumption
		51	Passenger motor cars
		522	Other non-industrial transport equipment
		61	Durable consumer goods n.e.s.
62	Semi-durable consumer goods n.e.s.		
63	Non-durable consumer goods n.e.s.		

注 1) 本分類表は、BEC 分類の貿易財を SNA (System of National Account) の基準と関連づけて工程段階別に分類したもの (CEPII の研究成果を参照)。SNA では、使用の主体別 (Producer, Household) で分けているために Capital goods (Capital formation) と Final goods (Final consumption) は別項目になるが、ここでは貿易取引を生産工程段階で整理するとの考え方から、Capital goods を Final goods の一部としている。

注 2) BEC code 32 については、321-motor spirits を household consumption と other industrial transport equipment の使用に分けることも考えられるが、ここではその区別をしていない。

¹生産段階別分類については、F. Lemoine. et. al., (2004), 'China's Integration in Asian Production Networks and Its Implications を参照。

²BEC 分類は、1968 SNA の基本的商品の使用に基づく分類(Intermediate consumption, Final consumption 及び Gross capital formation)に対応している。

4. 使用データ

「RIETI-TID2018」においては、国連 COMTRADE の SITC データを使用している³。SITC は HS より分類が粗くなる可能性があるものの、分類上の特徴として、製造に使われた原料、製造段階、商品の使用、技術的進歩などを反映しているため⁴、工程間分業を反映する上で望ましい性質を持っている。

³HS は 6 桁の分類であるのに対し、SITC は最大 5 桁の分類。

⁴国連のホームページにおいて SITC 分類の特徴が説明されている。”The commodity groupings of SITC reflect (a) the materials used in production, (b) the processing stage, (c) market practices and uses of the products, (d) the importance of the commodities in terms of world trade, and (e) technological changes.” また、HS 分類の特徴については次の通り。”The HS contributes to the harmonization of Customs and trade procedures, and the non-documentary trade data interchange in connection with such procedures, thus reducing the costs related to international trade.” (World Customs Organization) “In the Harmonized System goods are classified by what they are, and not according to their stage of fabrication, their use, or origin. The Harmonized System nomenclature is logically structured by economic activity or component material.” (University of British Columbia)

5. データベースの検索方法

RIETI-TID のデータの検索は、図表 5 のような手順で行います。

図表 5 データベースの検索方法

The screenshot shows the RIETI-TID 2018 search interface. At the top, there is a navigation bar with 'Home', 'Classification Table', and 'HELP'. Below this is a blue banner with 'RIETI-TID 2018'. The main content area contains a search form with several sections:

- Exporter:** Select the exporting and importing country or area. Includes dropdowns for 'country' and 'area'. Callout ①: 輸出国又は地域を選択します。
- Importer:** Select the importing country or area. Includes dropdowns for 'country' and 'area'. Callout ②: 輸入国又は地域を選択します。
- Industry:** Select trading industry. Includes a dropdown for 'industry'. Callout ③: 産業を選択します。
- Production Stage:** Select production stage from 3 or 5 category. Includes dropdowns for '5 category' and '3 category'. Callout ④: 生産段階を 5 段階別又は 3 段階別の中のいずれかを選択します。
- Year:** Select trading year. Includes dropdowns for 'year' and 'year'. Callout ⑤: 年代を選択します。
- Sort Item:** Select sort item. Includes a dropdown for 'sort item' and radio buttons for 'ascending' and 'descending'.
- Search Button:** A large yellow button labeled 'Search'. Callout ⑥: 最後に Search ボタンを押すと下に結果が出ます。

Additional text on the page includes: 'RIETI-TID is the database which covers all trade commodity goods and classifies the trade data associated with each production stage.' and 'Please select extraction condition, click the search button. The case of search, select year and two or more of extraction conditions from "Importer", "Exporter", "Industry" are required fields.'

Search filters: year: 1980...2018 | Industry: | Production stage: | Exporter: Japan | Importer: USA |

Year	Industry	Production Stage	Exporter	Importer	Trade Value
1980	Electrical machinery	Capital goods	Japan	USA	\$4,690,647,520
1980	Textile	Primary goods	Japan	USA	\$1,930,625
1980	Pulp,Paper and Wood	Consumption goods	Japan	USA	\$210,918,464
1980	Iron and steel , Nonferrous metals	Processed goods	Japan	USA	\$4,531,912,942
1980	Transportation Equipment	Capital goods	Japan	USA	\$463,511,314
1980	Chemicals	Consumption goods	Japan	USA	\$84,239,560
1980	Toys and Miscellaneous goods	Processed goods	Japan	USA	\$217,885,477
1980	General machinery	Parts and Components	Japan	USA	\$1,118,973,417
1980	Toys and Miscellaneous goods	Capital goods	Japan	USA	\$1,118,973,417
1980	Textile	Processed goods	Japan	USA	\$1,118,973,417

Callout ⑦: 貿易額の単位は、USドルです。

<シェア機能>

上記の貿易額「Travel Value」が国別や地域別、産業別、生産段階別でどのくらいのシェアがあるか調べたい場合に「シェア機能」を利用します。

Output CSV file

● Share area.

Exporter

Japan -----area-----

● Select trading industry.

Industry Total

Importer

USA -----area-----

● Select production stage from 3 or 5 category.

-----5 category----- Stage Total

Share

「Share」ボタンを押すと、選択した分母の値「Denominator」が表示されます。

year: 1980...2017 | Industry: Industry Total | Production stage: Stage Total | Exporter: Japan | Importer: USA |

Year	Industry	Production Stage	Exporter	Importer	Trade Value	Denominator	Share
1980	Industry Total	Stage Total	Japan	USA	\$35,361,916,283	\$35,361,916,283	100.00%
1981	Industry Total	Stage Total	Japan	USA	\$43,321,939,205	\$43,321,939,205	100.00%
1982	Industry Total	Stag					0.00%
1983	Industry Total	Stag					0.00%
1984	Industry Total	Stag					0.00%
1985	Industry Total	Stage Total	Japan	USA	\$79,065,677,077	\$79,065,677,077	100.00%

「Share」=「Travel Value」÷「Denominator」で計算されます。

※ 設定条件によって「Share」が 100%を超えることがあります。

※ 「Share」導出の便宜上、「Denominator」がゼロの場合も「1」と表記されます。

例えば、日本の対米輸出が日本の対世界輸出に占める割合を調べたい場合は、Importerを「World Total」で選択します。

「Share」=「Travel Value」÷「Denominator」で計算されます。

※ 設定条件によって「Share」が 100%を超えることがあります。

※ 「Share」導出の便宜上、「Denominator」がゼロの場合も「1」と表記されます。

※なお、輸出国・輸入国で検索可能な地域およびその定義は、以下の通りとなっております。

図表 6 本データベース上の地域の定義

地域	対象国
EAST ASIA	日本、中国、香港、韓国、台湾、シンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ブルネイ、カンボジア、ベトナム
NAFTA	米国、カナダ、メキシコ
MERCOSUR	アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ
EU15	英国、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ベルギー・ルクセンブルク、デンマーク、フィンランド、ギリシア、アイルランド、オランダ、ポルトガル、スペイン、スウェーデン
EU28	英国、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ベルギー・ルクセンブルク、デンマーク、フィンランド、ギリシア、アイルランド、オランダ、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、ブルガリア、キプロス、チェコ・スロバキア、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、ルーマニア、スロベニア、クロアチア
ASEAN4	インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ
ASEAN	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、カンボジア、ベトナム
ASEAN +3	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、カンボジア、ベトナム、日本、中国、韓国
ASEAN +6	オーストラリア、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、ブルネイ、カンボジア、ニュージーランド、ベトナム
日中韓三カ国	日本、中国、韓国
BRICS	ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国

※Not ASEAN、Not EU は、上記の対象国以外の国を指します。

※Exporter 「EAST ASIA」 Importer 「Japan」を選択した場合、Exporter は、「Japan」以外の「East Asia」の国と「Japan」の貿易額が出ます。

※2018年カンボジア、赤道ギニア、ガボン、イラン、イラク、サウジアラビア、ベネズエラ、ベトナムのデータは未公表のため、反映されていません。